

令和6年度 幼保小連携推進地区事業 活動報告

推進テーマ

幼保小の交流をととした

園児の安心感と児童の社会参画意識の向上

汐見台地区

汐見台中央幼稚園

汐見台西幼稚園

汐見台小学校

推進テーマ設定の理由

- これまでは本校と近隣幼稚園との交流が1年生や特定のクラスに留まっていた。
- 交流の楽しさを実感する事を通して、互いのよさを認め合い、進んでかかわるだけでなく、自分たちで活動を創造していかれる主体性や創造性の育成を目指したい。
- 新入生が学校や授業になじめず、登校を渋るようになっていく実態も少なからずあり、ここ数年の課題となっていた。このような状況を踏まえ、年長児との交流を推進することを通して就学に向けた安心感と学校への親しみがもてるようにしていきたい。
- 小学生においては、まちの施設としての幼稚園・保育園とかかわることや活動の中で生じる相手意識を、社会参画に必要な資質・能力の育成につなげていきたい。

令和6年度 年間計画

4月19日	推進委員会（テーマ・年間・予算等の検討）	
4月～	入学式・スタートカリキュラム	前年度の5年生と 年長児の交流を生 かした活動
5月29日	たてわりペア遠足	
7月24日	幼保小合同職員研修（「不登校児とのかかわり方」）	
6月24日	幼稚園交流会（5年生と年長児の交流会）	
12月6日・11日	交流あきまつり（1年生と年長児の交流に5年生も参画）	
3月中旬	推進委員会（取り組みの振り返り）	

今年度の重点課題～特に力を入れたこと～

5年生と年長児の交流の継続

汐見台小学校ではたてわり活動が長年にわたって行われており、1年生と6年生はペア学年としてこれまでもたくさんの交流をしてきた経緯がある。昨年度より、その関係づくりを前倒しする形で5年生と年長児の交流を始め、入学後のペア活動がさらに充実したものとなるよう計画した。

- 今年度はその2年目となるが、5年生の子どもたちに交流の意欲をもたせることや次の5年生に向けたメッセージを残すことなど、取り組みを継続させる仕組みづくりに力を入れた。
- また、今年度の6年生と1年生の良好な関係を維持することも大切である。6年生と1年生がかかわる姿を見て、5年生の子どもたちが幼稚園との交流に向けた思いを膨らませられるようにした。

入学式 4月8日 汐見台小学校



受付の列を
クラスごとに整備



出席番号を聞いて、
靴箱の場所を案内



トイレへの誘導

新入生・保護者

6年生が案内してくれたおかげで、初めての校舎、教室も迷わずに行くことができた。

6年生児童

新入生と保護者の方が、笑顔で「ありがとう。」と言ってくれたから、こっちも嬉しくなったよ。



教室前で受付
歓迎の拍手



席に案内
おしゃべりしてリラックス



手をつないで体育館まで誘導
そしてそのまま入場

新入生

去年の交流会で話したことがあるお兄さん、お姉さんがいて安心できたよ。家の人と離れても、6年生のおかげで緊張がほぐれたよ。

6年生児童

去年の交流会の時に、「入学式でまた会おうね」と約束した子と再会できて嬉しかった。これから最高学年として1年生とかかわれるのが楽しみだな。

スタートカリキュラム 4月 場所 なかよしルーム／体育館

「子どもが学校生活に対して安心感をもつことができるように」



友達とのかかわり



大人とのかかわり

「先生と自分」「友達と自分」「クラスの中の自分」といった様々な人間関係を自然に構築できるようにすることを大切にしました。主体性を発揮し、自分の好きなことを通して人とかがかわれるよう、自由に過ごせる時間、自由に選べる活動を用意しました。

たてわりペア遠足

5月29日

久良岐公園

事前打ち合わせ



教室レク・公園遊び決め
相談して、遊びを決めました。
遠足のめあても
自分たちで考えまし



- 【6年生】どんなあそびがいいのかな？
みんなで楽しめるようにしたいな。
どれがいいかみんなに聞いてみよう。
- 【1年生】・みんなでだるまさんがころんだを
したい！
・ぼくは長縄やりたいなあ。

↓
じゃあ時間が余ったら両方やろう！

たてわりペア遠足 当日

グループごとに
公園遊び



小学校で初めての遠足。
とにかく楽しむ1年生の姿と
優しく声をかける6年生の姿が
たくさん見られました。



グループ対抗で教室レク



ウォークラリー



<スタンプラリー>

【1年生】

- ・チェックポイント全部回りたいな！
- ・向こうに先生がいるよ！行ってみよう！
- ・こっちから行ったほうが近道だと思う！

幼稚園交流会

6月24日 (汐見台中央幼稚園・汐見台西幼稚園)

実行 幅広い交流の仕方

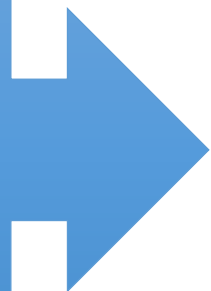


園の子たちも遊べる遊
びを考えよう!

読み聞かせ、楽しんで
くれるといいな



4月~6月
計画・立案



➤「未来のペア学年」に向けて、
お互いに楽しめる交流の仕方を
5年生が計画。



総合の時間で取り組ん
でいることを、
体験してもらおう!

幼保小合同研修会 7月24日 場所：汐見台小学校

不登校支援研修
～不登校児との関わり方～

講師：ハートフルみなみ
スクールソーシャルワーカー
鈴木由香先生



いつも子どもを真ん中に

学校に行けない現実に
寄り添うこと

関係者が手を組んで、
子どもを守る体制を
構築する

「登校願望」をもつ
教育者

間違いを恐れず
自分で選び、自分で決定
する力をつける

「みんなの期待に応えたい」
子ども

子どもは小さい大人として、
生き方が違うことを
理解する

「できる子になってほしい」
保護者



交流あきまつり 12月6・11日 場所 汐見台小学校 体育館



1年生はグループに分かれてどんぐりや松ぼっくりを使ったおもちゃ屋さん、ゲーム屋さん、人形劇を披露するブースや落ち葉の衣装を試着できる店など、全部で20軒以上のお店を体育館に連ねて園児のお客さんを迎えました。中でもどんぐりを的に当てて点数を競う射的屋さんが大人気で、長蛇の列ができていました。

挨拶やゲームのルール説明などが年長児に伝わるだろうかという相手意識や、時間をかけて作った品物で楽しく遊んでほしいという願いが1年生の子どもたちの姿から感じられました。当日は5年生も交流に加わり、園児の遊びをサポートしたり、学校の案内したりしました。5年生は6月に幼稚園を訪れて交流を経験しているので、その時の成果や反省を生かしたかわりが見られました。年長児からは入学後の学校生活を楽しみにしている声が多く聞かれました。

交流あきまつりに5年生も参画

1回目の交流を受け、各クラスで振り返り

次の交流に向けて、よりなかよしになれる活動を考えよう！

➤ 園児と共に校内を巡り、学校生活を想像してもらう学校探検

学校での生活を楽しみにしてもらいたいな

➤ 1年生が開催する秋祭りへ参加し、園児と1年生をサポート

1年生のお店は、どこも工夫されているね

➤ 学校の施設を利用して、園児と遊び、より仲を深める



成果と課題

【成果】

- 1年生は「あきまつり」での交流を通して相手意識の育ちが見られた。
- 5年生は6月に幼稚園を訪れて交流を経験したため、2度目の交流となる「あきまつり」で前回の成果や反省を生かしたかわりが見られた。
- 6年生と1年生のペア活動では、「園児は思った以上にいろいろなことができる」という前年度の気づきから、1年生の意見や考えを大切にする姿が見られた。
- 年長児からは入学後の学校生活を楽しみにしている声が多く聞かれた。
- スタートカリキュラムを刷新したことで、入学当初における登校渋りが少なくなった。

【課題】

- 人材育成の観点からも「スタートカリキュラム」や「架け橋プログラム」についての理解が全職員に広がるよう、幼保小の連携を幼稚園及び学校全体の取り組みとして位置付けていく必要がある。
- 今年度は不登校に関する研修を行ったが、子どもの育ちや主体性の育成に関する研修も取り入れていきたい。